

1、概要

- ・参加者 112名（運営の宮城県・れんぷく 計17名除く）
- ・振り返りシート提出者 73名 → 回収率 65.2%

2、出席者内訳

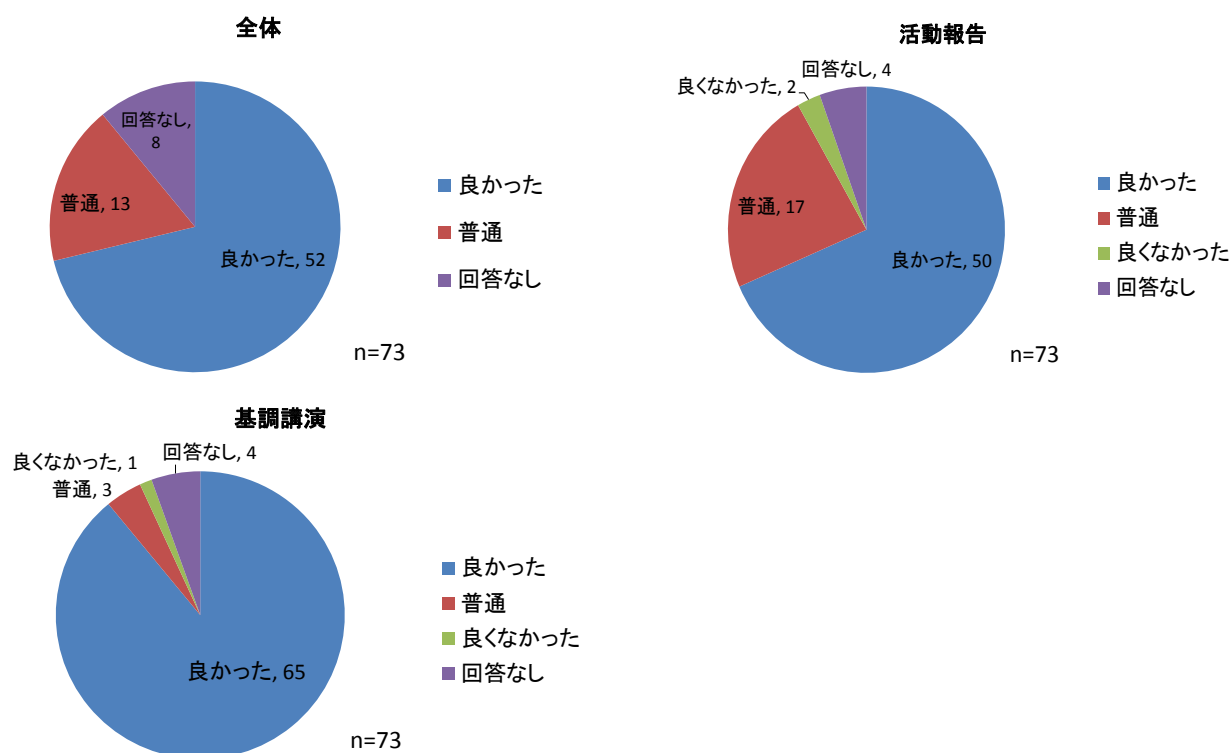
（報告会出席者数）

所属	
総務省	2
行政	10
受託団体	12
応援隊	29
地域支援員	4
地域おこし協力隊	2
小計	59
（宮城県内応援隊事業関係者以外）	17
（宮城県外）	29
（企業）	7
合計	112

3、集計結果

（記述式の Q2~Q5、Q7 については多かった意見を中心に抜粋）

Q1. 今回のプログラムは、あなたの今後の取り組みに向けた機会としていかがでしたか？



Q2. 今回の報告会であなたが気付いたことは何ですか？

- ・生き生きと発表されていた事
- ・いろいろな取組がされていることを、改めて知った
- ・住民主体であり、応援隊・支援員はあくまで裏方だということ
- ・子どもや若者を対象にした取組が多く、地域の将来を考えていると感じた
- ・取組みをうまく情報発信できる場があるとなおよい
- ・事業終了後について、どのように活動を継続させていくか考える必要があるということ
- ・他地域の応援隊（協力隊）との情報共有の重要性

Q3. 今回の報告会で、あなたがもっと知りたいことは何ですか？

- ・もっと具体的な活動内容を知りたい
- ・他地区の成功例
- ・活動を通じての困っていることや課題
- ・似ている取組みをしているところと交流したかった（応援隊から同様の意見多数）
- ・地区内の他団体や市事業との連携や棲み分けの状況

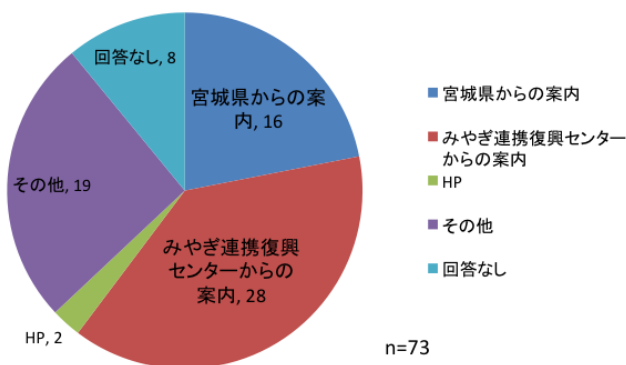
Q4. 今回の報告会を、あなたはどのように生かしていきたいと思いますか？

- ・（講演について）実際の活動の中で共感できる部分が多く、勉強になった
- ・（講演について）これから集団移転のコミュニケーションづくりに役立てたい
- ・地域を越えた応援隊同士のつながりを改めて確認できたので、今後情報交換を行っていきたい
- ・現在取り組んでいることの振り返りの契機にしたい

Q5. 今後、どのような研修や会議があればよいとお考えですか？

- ・ざっくりばらんな交流会（エリア限定、ゆるく、ラフに、アンオフィシャルなど）
- ・合宿研修
- ・テーマを絞ったワークショップ
- ・他県の応援隊との交流も含めた共同報告会（他県応援隊事業関係者）

Q6. 今回の報告会はどこでお知りになりましたか？



Q7. 今回の報告会に参加された理由をお聞かせください。

- ・他の地域（県）の応援隊の活動が知りたかったから
- ・田口先生の講演が聞きたかったため
- ・自分たちの活動の振り返りをしたかったため
- ・他地区の活動を参考に自分たちの活動のレベルアップにつなげたいから